

「横浜市営交通カレンダー2023」発売！



毎年ご好評をいただいている「市営交通カレンダー」を10月1日（土）に発売します。
写真家の森日出夫氏が撮影した、夕暮れの山下ふ頭でみなとみらいを背景にした連節バス・ベイサイドブルーの写真が表紙を飾り、一般公募で応募いただいた254作品の中から採用された12作品が各月を彩ります。

また、ブルーライン4000形と1000形が新羽車両基地に並ぶ、日頃見ることのできない写真や2023年に開館50周年を迎える市電保存館の写真も掲載されています。

市営交通の魅力・横浜の街の魅力がいっぱいに詰まった、お勧めの一冊です！

1 「横浜市営交通カレンダー2023」概要

- 仕様 壁掛けタイプ、正方形（25cm×25cm）
- 発売日 令和4年10月1日（土）
- 販売価格 1冊1,100円（税込） ※WEB販売のみ1,540円（税込）
- 販売数 2,800冊（売り切れ次第終了）

2 「横浜市営交通カレンダー2023」販売場所

- 地下鉄12駅事務室
（湘南台・戸塚・上大岡・上永谷・関内・横浜・新横浜・センター南・あざみ野・中山・センター北・日吉）
- お客様サービスセンター
（上大岡・横浜・センター南）
- はまりんコンビニ
- 横浜市電保存館（磯子区滝頭）
- AmazonによるWEB販売
- 沿線の一部書店 ほか

※詳細は（一財）横浜市交通局協力会ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.kyouryokukai.or.jp/2022/09/16/cal2023/>

※環境に配慮し、手提げ袋を用意していません。

マイバックの持参にご協力ください。



横浜市営交通カレンダー2023 表紙
（写真家・森日出夫氏 選考・監修）





【森日出夫氏 全体講評】

年齢の若い方や新しいファンの方からの公募が増えてきたことはうれしいですね。皆さん、いろいろと調べられていて、こんな場所があったんだと驚かされる写真や、アングルが面白い写真、様々な時間帯を狙うなど全体的にレベルが上がっているように感じ、大変感心しました

2023年版は、“ザ・横浜”の風景から生活感のある情景まで、様々な横浜を感じられる作品となりました。

裏面あり

3 カレンダー掲載写真（応募者数：88名／応募作品数：254作品の中から採用）

 <p>(撮影者: 沢田 俊幸さん) 1月「新緑新型」</p>	 <p>(撮影者: 石井 裕基さん) 2月「立体交差」</p>	 <p>(撮影者: 中山 竜史さん) 3月「近未来」</p>
 <p>(撮影者: 中山 竜史さん) 4月「出発」</p>	 <p>(撮影者: 関 俊一さん) 5月「青空の下を走る100周年ロゴマーク電車」</p>	 <p>(撮影者: 加納 良英さん) 6月「威風堂々」</p>
 <p>(撮影者: 尾形 憲昭さん) 7月「市営交通 Colorful」</p>	 <p>(撮影者: 尾形 憲昭さん) 8月「東の間の休息」</p>	 <p>(撮影者: 風間 裕吏さん) 9月「NEW TOWN」</p>
 <p>(撮影者: TAKA BLUEさん) 10月「Autumn in Yokohama」</p>	 <p>(撮影者: 尾形 憲昭さん) 11月「銀杏街道」</p>	 <p>(撮影者: 帆苺 悟さん) 12月「変わりゆく横浜」</p>

※写真データが必要な場合は、問合せ先にお申し付けください

4 応募概要

募集期間：令和4年6月20日（月）～7月29日（金）

応募人数：88名（年代：10歳未満－1名、10代－15名、20代－7名、30代－8名、40代－10名、50代－14名、60代－11名、70代以上21名、未記入－1名）

応募作品数：254作

<p>お問合せ先 (市営交通カレンダー2023全般について) 一般財団法人横浜市交通局協力会 営業課長 武藤 隆夫 Tel 045-253-9797 (駅事務室での販売等について) 交通局総務課長 柳下 豊彦 Tel 045-671-3132</p>
